

安全報告書(2009年)

ご挨拶

今シーズン(2008~2009年)も秋田市太平山スキー場「オーパス」をご利用いただき、誠にありがとうございました。スキー場「オーパス」を代表致しまして、厚く御礼申し上げます。

今シーズンは、前シーズンよりも1日早い1月2日からオープンすることが出来ましたが、積雪量の不足から、当初予定しておりました12月下旬にオープンすることが困難な状況であり、皆様には大変ご不便をおかけしました。

また、今シーズンもマナーある皆様のご協力により、事故無く、無事にシーズンを終えることが出来ましたことに感謝致しております。

当スキー場では、「安全第一」をモットーとしており、施設の点検、補修等整備に万全を期すよう心掛けております。

これからも安全な施設提供を心掛け、多くのお客様が安心・安全に過ごせ、より賑わいのあるスキー場づくりを目指して職員一同取り組んでまいりますので、ご愛顧の程、よろしくお願い申し上げます。



太平山観光開発株式会社
代表取締役社長 伊藤 高

『安全方針について』

平成18年10月1日の鉄道事業法の改正を受け、安全に対する意識をより高めるため、「安全管理規程」等を作成し、運営しています。

『輸送の安全を確保するための基本方針』

1. 一致団結して輸送の安全確保に努めます。
2. 輸送の安全に関する法令および関連する規定を良く理解すると共にこれを遵守し、厳選忠実に職務を遂行します。
3. 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
4. 職務の実施に当たり推測に頼らず確認の励行に努め疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
5. 事故、災害等が発生した時は人命救助を最優先に行動しすみやかに安全適切な処置をとります。
6. 常に問題意識を持ち必要な変革に果敢に挑戦します。

前述の基本方針を実行するため安全輸送の管理体制や索道施設の保守および運行の管理の方法を作成し安全管理規程に記しております。これらはすべて利用者の安全を確保するものであると同時に私達働く側も安全な作業を行うための大切な規程なのです。

『安全に対する取組み』

シーズン前従業員研修において、「安全管理規程」を説明し、輸送の安全の確保に必要な事業の実施と管理を行っております。

- ※ スキー場オープン前の12月13日リフト係員とパトロール隊に安全研修会および救助訓練を実施、安全管理規程の説明後安全意識の向上と索道係員服務規定、索道整備細則の再確認を行いました。従事経験等の違いから理解の差があるので現場での研修も含めて今後進めていきたいと思っています。(1月20日救助訓練実施)
- ※ 始業前毎朝ミーティングを行い、気象状況やリフトの状態・人員配置の確認及び安全に関する情報交換を行い、各担当リフトの仕業点検を行いました。
- ※ シーズン中索道従業員安全教育会議を開き安全確保に関する議題、類以した事故等を起こさない対策について協議を行いました。そして3月15日営業最終日までお客様の安全輸送確保の確認を行いました。



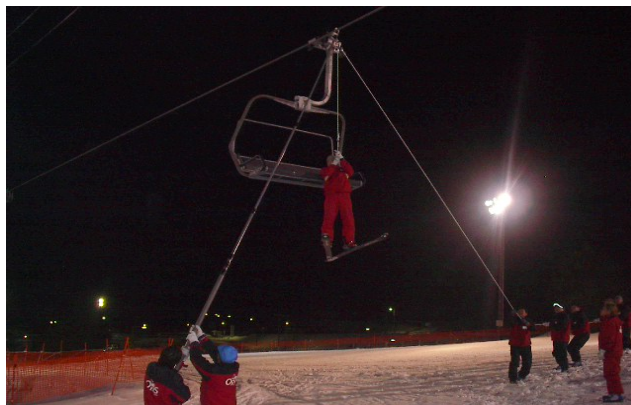
H20/12/13

会社概要説明・職務内容説明状況



H20/12/13

第三ペアリフト救助訓練実施状況



H21/1/20

営業終了後 第一クワットリフト救助訓練実施状況



H21/2/25

索道安全統括管理者による従業員安全教育実施状況

今シーズンオーパススキー場に於いて索道に係る事故はありませんでした。これも利用者の皆様のご協力のお陰と感謝いたしております。

『安全に関する組織体制』

安全運行に取り組むため安全管理意識を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

(別紙 1 ご参照下さい)

整備の実施について

オーパススキー場ではシーズン中に保守管理計画を作成し、春から秋にかけて整備点検を実施しております。今シーズンに於いては次に掲げる主な整備を行いました。

外注修繕

① 第一クワットリフト

- ・ 握索機オーバーホール (50/77 台)
- ・ 握索機メインパーツ塗装 (27/77 台)
- ・ 各支柱放送スピーカー交換

② 第二ペアリフト

- ・ 主電動機オーバーホール
- ・ 各支柱放送スピーカー交換

③ 第三ペアリフト

- ・ 山麓原動室内ケレン塗装
- ・ 各支柱放送スピーカー交換

社内修繕

全リフト

各支柱受索輪点検整備給油脂

- ・ 支えい索点検測定給油脂
- ・ 折り返し設備、保安設備、予備原動設備等点検整備
- ・ 各搬器点検給油脂

第一クワットリフト

- ・ 握索機点検
- ・ 山麓・山頂場内テンションプーリー 5 箇所交換
- ・ 及び V ベルト交換・張り調整・タイヤ空気圧調整。
- ・ 減速機ギアオイル交換
- ・ 油圧緊張オイル・フィルター交換
- ・ 2 号支柱空線側索輪ゴムライナー 1 本・ベアリング 2 個交換

第二ペアリフト

- ・ 握索機皿バネ・オイルシール交換 (全 141 台分)

第三ペアリフト

- ・ 握索機皿バネ・オイルシール交換 (全 173 台分)
- ・ 8号支柱空線側索輪ゴムライナー4本・ベアリング 12個交換
- ・ 予備原動装置燃料ホース交換

※ 整備予算については市と協議しながら進めておりますが、予算の捻出は毎年決して簡単には参りませんが安全第一をモットーに進めており、優先順位を定めて参ります。

最後に繰り返し申しますが、事故なくシーズンを終了できましたのも皆様のご協力のお陰と思っております。

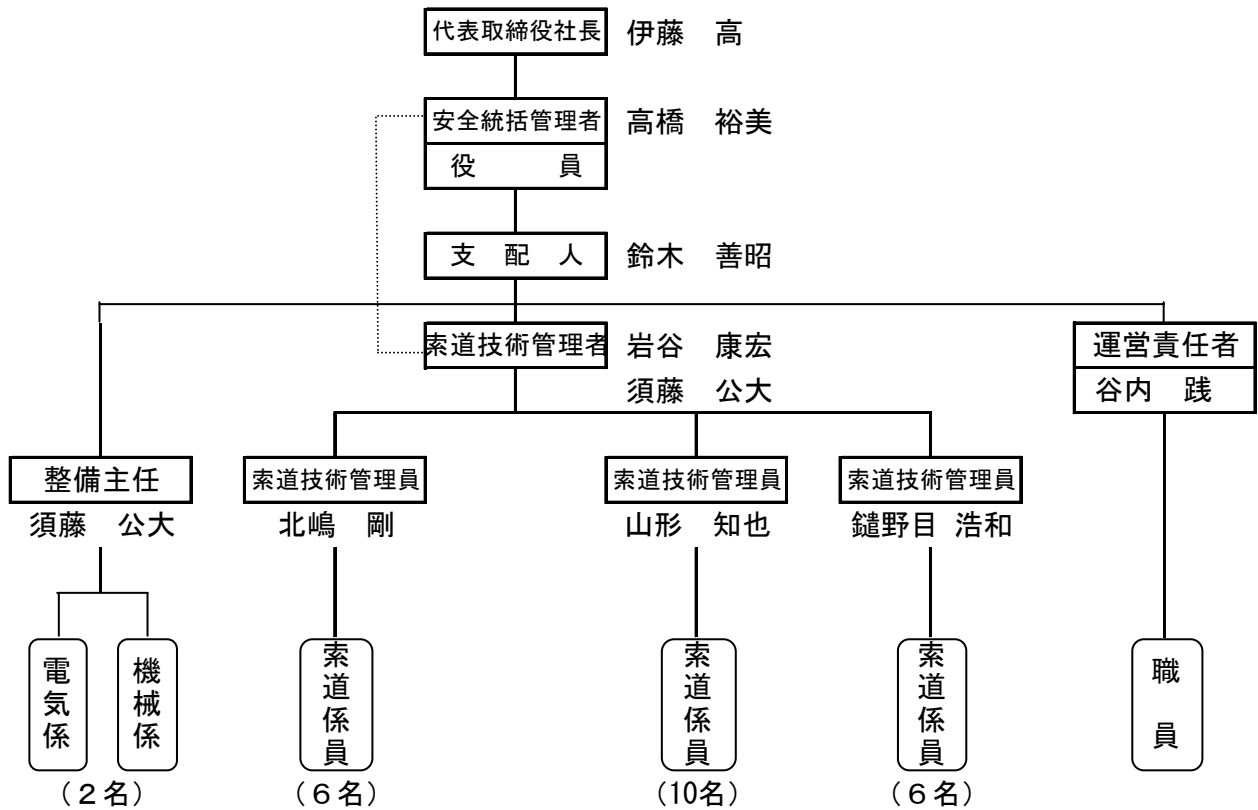
来シーズンも安全で楽しいスキー場を目指し、職員一丸となって皆様に愛されるスキー場を作っていきたいと考えておりますので、更なるご愛顧とご協力を宜しくお願い致します。



秋田市太平山スキー場
太平山観光開発株式会社

秋田市太平山スキー場安全管理組織および責務

1 安全管理組織図



2 責務について

- ① 代表取締役社長：輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
- ② 安全統括管理者：索道事業の輸送安全の確保に関する業務を統括する。緊急、重要案件について提案し、会議において意思決定を行う。
- ③ 支配人：スキー場事業の管理業務全般を統括する。
- ④ 運営責任者：スキー場事業の運営に関する業務を統括する。
- ⑤ 索道技術管理者：安全統括管理者の指揮のもと、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を統括する。
- ⑥ 整備主任：索道に関わる施設・設備の補修、保守管理等を行う。
- ⑦ 索道技術管理員：索道技術管理者のもと、索道の運行管理、索道施設の保守管理その他の技術上の事項に関する業務を管理する。
- ⑧ 索道係員：係員は運転、監視、乗客、改札係を示し、索道係員サービス規程に基づき、業務を行う。